

OVER TIME[®]

22V_型 フルハイビジョン 録画機能付き DVD搭載 ポータブルテレビ

品番: OT-TVD22TE

取扱説明書 〈保証書〉



H·DMI
Multimedia Interface

ハードディスク 録画可能
HDD USB

■ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上、正しくご使用ください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

目次 (もくじ)

はじめに	3
安全上のご注意	3・4
使用上のご注意とお願い	5
付属品のご確認	6
ディスクについて	7・8
各部の名称（本体）	9
各部の名称（リモコン）	10・11
リモコンについて	12
電源コードをつなぐ／電源を入れる	12
DVD/ オーディオ CD の再生	13～18
DVD 設定	19～21
各部端子などの名称（本体側面部）	22
miniB-CAS カードの準備	22
地上デジタル放送の視聴 〈視聴前の準備〉	23
〈放送局の登録〉	24～26
〈DTVモードの操作・設定〉	27・28
〈録画機能を使う〉	29
〈録画用メディアの準備〉	30
〈録画関連機能の利用〉	31～33
〈受信レベルの確認〉	34
USB スロットについて	35
各種ファイルの再生	36～38
各種メディアに録音する	39・40
外部機器と接続する	41
故障かな？と思ったら	42～44
その他の情報	45
製品仕様	46
保証規定・アフターサービス・免責事項	47
保証書	48

はじめに

本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	5
付属品の確認	6

安全上のご注意

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違えた使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる恐れがあり大変危険です。

本製品および付属品をご使用されるときは、事故を防ぐため、以下の注意事項をよくご理解いただき、必ずお守りください。

 警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	
 高圧注意を表します。	 禁止を表します。
 必ず指示に従います。	

 注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。	
 接触禁止を表します。	 分解・修理・改造禁止を表します。
 コンセントの扱いに注意してください。	

 警告	
 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。	
 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。	
 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。	
 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。	
 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。	
 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。	

安全上のご注意

⚠ 警告

-  本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないでください。
 -  電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。
 -  通風孔(放熱のための穴)をふさがしないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
 -   裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。
- 下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。
-  ● 落としたりして機器が破損した
 - 機器の中にものが入った
 - 熱器具に近づく
 - 液や煙、音、または異臭がでる
 - 機器を雨や湿気にさらした
 - 電源コードや電源プラグが破損した
 - 途中でつぎ足したりして加工する
 - トラブルシューティングで対応できない

⚠ 注意

-  平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
 -  湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
 -  直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。
 -  液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。
 -  音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
-  ● 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
 - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。
-  移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。
 -  旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。
 -  お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

●デジタル放送のコピー制御について

本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御の為、B-CAS の機能を利用します。

挿入されないと、全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。

(NHK や無料民放放送など)

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送をご視聴でき、また高画質のままに録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。(ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。)

●液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルには画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性に付き故障ではありません。

●本製品の温度について

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

●設置室内の温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

●輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などの恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

●ゲーム機器との接続について

ガン(銃)タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するため、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

●お手入れについて

お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。

*キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどの恐れがありますので、以下のことをお守りください。

- ・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。
- ・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

*液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護の為、以下の事をお守りください。

- ・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。
- ・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。
- ・パネルの汚れを拭き取る時は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

●本製品を破棄するときは...

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

付属品のご確認

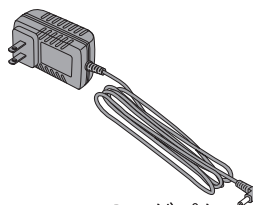
本機をご使用の前に以下の同梱品が揃っているか必ずご確認ください。
※予告なしで変更になる場合がございます。



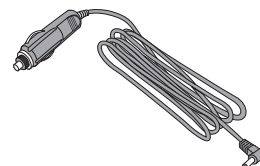
本 体



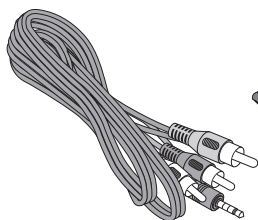
リモコン
テスト用電池付属



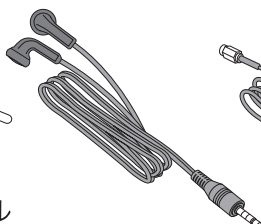
ACアダプタ
屋内用



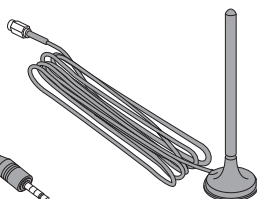
カーアダプタ
12V シガーライター用
24V、変圧器、分配器使用禁止



AVケーブル
※市販品は合わない場合がありますので同梱品
を使用してください



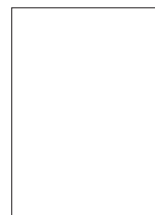
イヤホン



簡易アンテナ



ミニB-CAS
カード
デジタル放送視聴用



本書
取扱説明書
兼保証書

※画像とは異なる場合がありますが同等の物を付属します

- アダプタ他当機純正付属品及び弊社提供品以外の、ご使用での不具合は無償対象外になります。
また他社機器のサポートはしておりません(接続方法や相性、動作確認ほか)
 - 同梱の電池はモニター用です。早く切れる場合があります。
 - 車シガーライター用カーアダプタは車によっては形状が合わない場合があります。
※その場合は使用はできません。外国車は特にご注意ください。
 - リモコンは、他の赤外線対応の機器等に反応しますのでご注意ください。特に車に反応する場合がありますので注意してください。
- ・梱包箱や副資材他は差しつえがなければ、なるべく保管されることをお奨めします。

ディスクについて

再生可能なディスク 本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVDビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像（動画） ＋ 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画／音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL, SECAM）表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応していません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CRRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録（録画）して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録（録画）する機器（DVDレコーダー）とその他の再生機器（本機）との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

ファイナライズ処理は「データを記録（録画）する側の機器」でのみ施すことが可能です。

ディスクに関する用語

一般に DVD ビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽 CD は「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。
(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

ディスクの取り扱い方

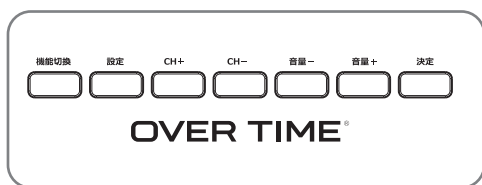
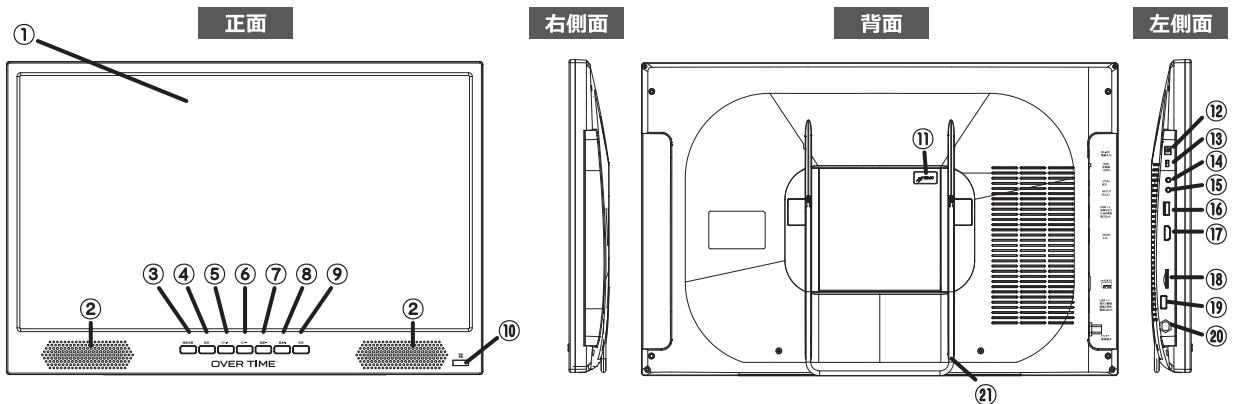
- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

各部の名称（本体）



- ① 液晶パネル 視聴データを表示する画面です。
- ② スピーカー部 音声を出力します。
- ③ 機能切替ボタン 視聴するデバイスを選択します。
- ④ 設定ボタン 設定メニュー画面を表示します。
- ⑤ CH (＋) ボタン 視聴する番組を選局します。
- ⑥ CH (－) ボタン 視聴する番組を選局します。
- ⑦ 音量 (－) ボタン 音量の調整を行います。
- ⑧ 音量 (＋) ボタン 音量の調整を行います。
- ⑨ 決定ボタン 選択した項目を決定／実行する時やチャンネルリスト表示に使用します。
- ⑩ リモコン受光部 リモコンで操作する時、こちらの方向に向けて操作します。
表示ランプ 本体や内蔵電池の状態を表示します。(赤):充電ランプ / (緑):電源ランプ
- ⑪ ディスクカバー開 / 閉 DVD/CDをセットするためにディスクカバーを開閉します。
- ⑫ DC電源入力端子 電源アダプタ (AC / DC) の端子部を挿入します。
- ⑬ 主電源スイッチ (ON/OFF) 本体主電源の ON / OFF を行います。※OFF状態での予約録画はできません。
- ⑭ イヤホン出力端子 イヤホンで音源を視聴する時に使用します。
- ⑮ AV 入力端子 外部機器 (DVD プレーヤーなど) から RCA 入力する時に使用します。
- ⑯ データ再生用 USB 端子 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。 **外部データ再生専用**
- ⑰ HDMI 入力端子 外部機器 (DVD プレーヤーなど) から HDMI 入力する時に接続します。
- ⑱ miniB-CAS カード挿入口 付属の miniB-CAS カードを挿入します。
- ⑲ 地デジ録画用 USB 端子 地デジ放送番組を録画用メモリーに録画する時や、録画データを視聴する時に使用します。 **テレビ番組録画専用**
- ⑳ アンテナ入力端子 地デジ放送用アンテナと接続します。
- ㉑ 設置用スタンド 本機を立て掛けて設置する際に使用します。

各部の名称 (リモコン)

① 電源ボタン

本体電源のオン／オフを切り換えます。

② 数字ボタン

場面や曲の番号の直接入力を行います。

③ ズームボタン

DVD再生中の画面ズーム倍率の変更

④ スローボタン

DVD再生中のスロー再生を行う

⑤ 設定 / 情報表示ボタン

設定：機能設定ページを表示します。

情報表示：テレビ番組の情報を表示します。

⑥ ▲/CH▲ボタン

上方向への移動や選択

テレビ放送チャンネル選択

⑦ ◀ボタン

左方向への移動や選択

⑧ OKボタン(決定)

各種設定や選択項目を実行します。

⑨ ▼/CH▼ボタン

下方向への移動や選択

テレビ放送チャンネル選択

⑩ 音声切替ボタン

音声を切り換えます。

⑪ メニューボタン(対応ソフトのみ)

DVDメニュー画面に戻ります。

⑫ サーチボタン

サーチ：テレビ放送を再受信します。

⑬ タイトルボタン(対応ソフトのみ)

DVDタイトルメニュー画面に戻ります。

⑭ 消音ボタン

音声の消音↔出音

⑰ ◀◀ボタン

前のチャプターへの移動など

⑮ ◀◀ボタン

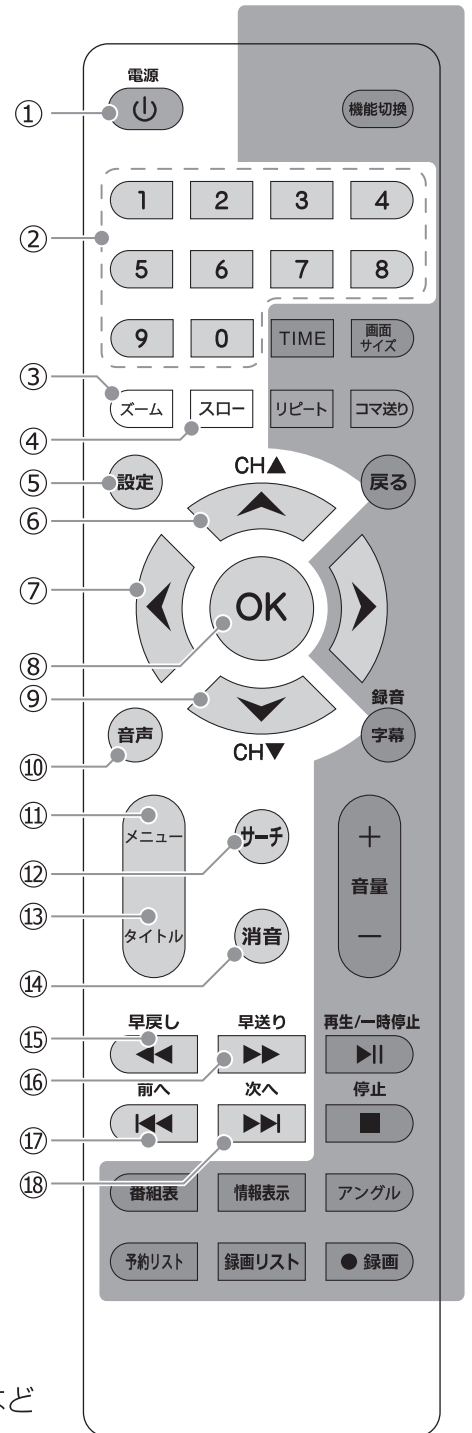
再生データの早戻し

⑱ ▶▶|ボタン

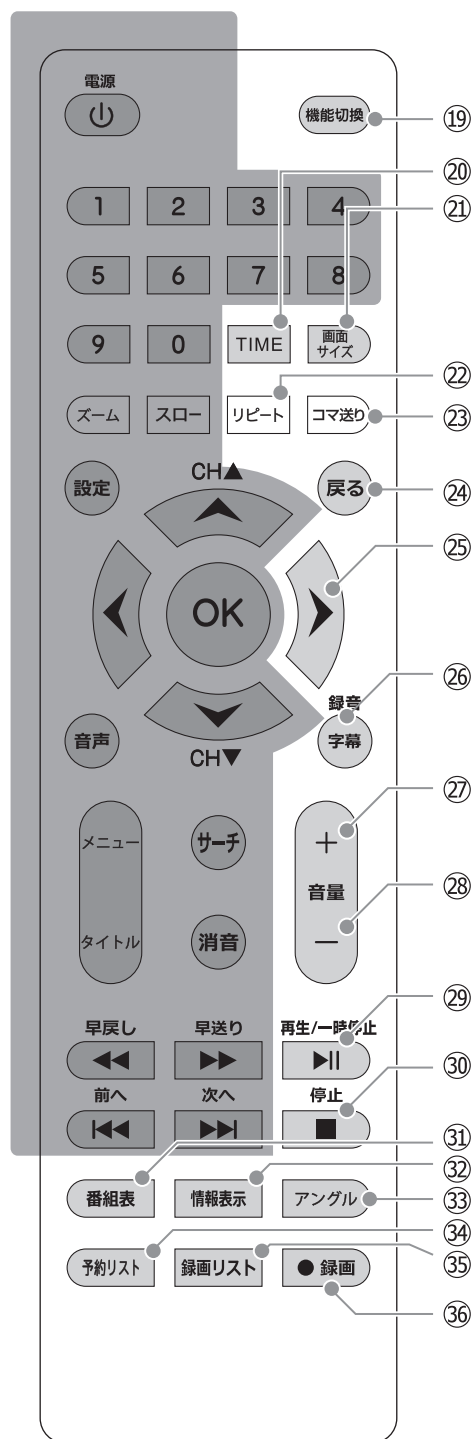
次のチャプターへの移動など

⑯ ▶▶ボタン

再生データの早送り



各部の名称 (リモコン)



①⑨ 機能切換ボタン
DVD・AV・DTV・HDMI・USBを切り換えます。

②⑩ TIME ボタン
ディスク再生時の再生時間／残り時間を表示

②⑪ 画面サイズボタン
表示サイズの切換 (4:3↔16:9)

②⑫ リピートボタン リピート再生の設定

②⑬ コマ送りボタン コマ送り再生の設定

②⑭ 戻るボタン 前の操作に戻る

②⑮ ▶ボタン 右方向への移動や選択

②⑯ 字幕 / 録音ボタン
字幕表示 / CD 録音を表示します。

②⑰ 音量+ボタン 音量を上げます。

②⑱ 音量-ボタン 音量を下げます。

②⑲ 再生 / 一時停止ボタン(タイムシフト)
録画データや外部メモリー内データの再生 / 一時停止を行います。
テレビ 番組視聴中にタイムシフト機能に使用します。

③⑩ ■ボタン
再生中の録画データを停止
DVD 再生中の仮停止と停止

③⑪ 番組表ボタン
番組表を表示します。

③⑫ 情報表示ボタン
情報表示：テレビ 番組の情報を表示します。
※2回押すと受信レベルが表示されます。

③⑬ アングル (対応ソフトのみ)
ディスク再生中の映像アングルの切り換え

③⑭ 予約リストボタン
予約したリストを表示します。

③⑮ 録画リストボタン
録画したデータリストを表示します。

③⑯ 録画ボタン
ダイレクト録画を外部メモリーにします。
※外部メモリー接続が必要です。

リモコンについて

リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。

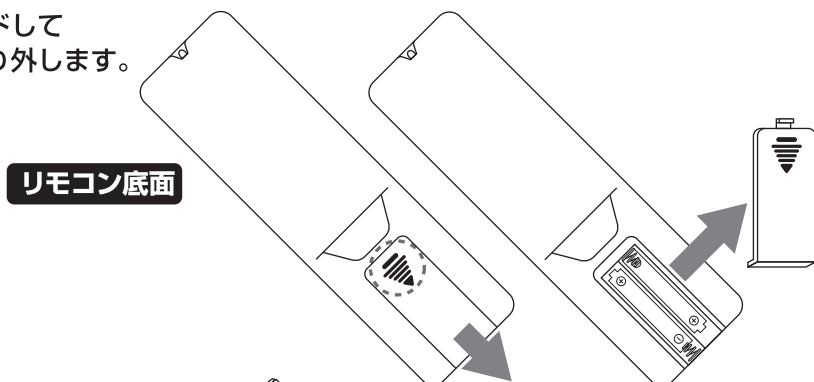
電池の入れかた

【注意】電池は極性を間違えないように下図のとおり入れてください。

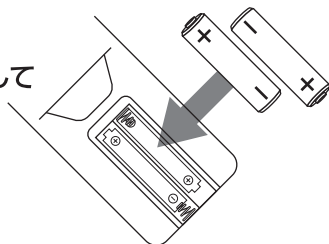
※ リモコンには単4形乾電池2本が必要です。

※ 付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。早目に交換されることをおすすめします。

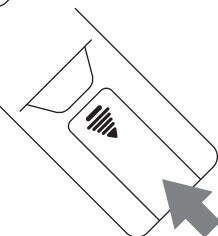
- 1 下方向へスライドして
電池カバーを取り外します。



- 2 電池の向きに注意して
電池を入れます。



- 3 電池カバーを
しっかり閉めます。



- リモコンを使用する場合、リモコンの赤外線発射部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。受光する角度は、 $\pm 30^\circ$ 、距離は 3m 以内です。

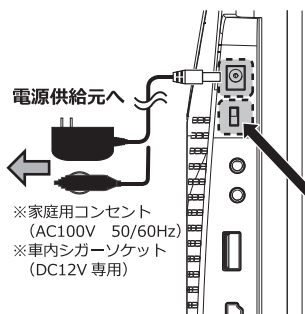
リモコン受光部
(本体正面右下部)

充電中または主電源を入れた時に
LED ランプが点灯する部分です



本体受光部やリモコン赤外線発射部に太陽光など強い光をあてないでください。
正常に作動しない場合があります。

電源コードをつなぐ / 電源を入れる



※ 家庭用コンセント
(AC100V 50/60Hz)
※ 車内シガーソケット
(DC12V 専用)

主電源スイッチ

付属品の電源アダプタ (A C アダプタ または 車載用 D C アダプタ) と本体を接続し、コンセント側または D C 1 2 V シガーソケットと接続します。電源アダプタ接続後、本体に正しく通電されると、充電ランプ (緑) が点灯して充電が始まります。(充電中: 点灯 / 満充電時: 消灯) 通電中または充電池に蓄電された状態で主電源を入ると、電源ランプ (緑) が点灯して本体が起動します。

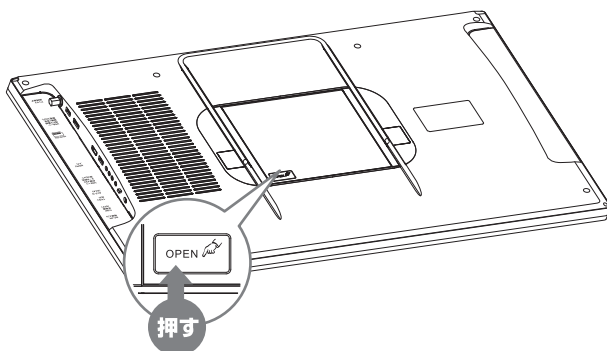
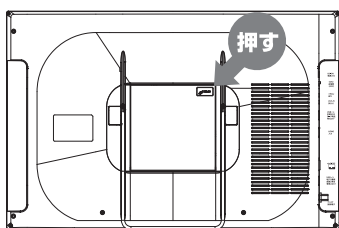


⚠ 注意 ● 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
● 本機を長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いてください。

DVD/ オーディオ CD の再生

ディスクのセット方法

1. 本体背面の「▲開/閉」を押してディスクカバーを開きます。



はじめて本機をご使用される時

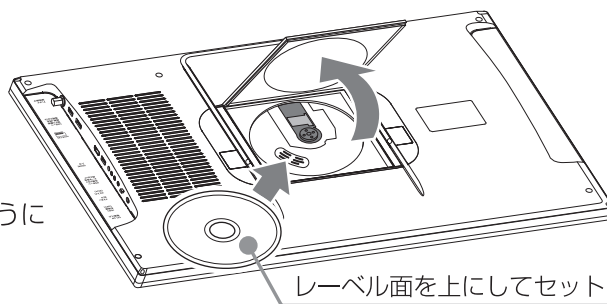
はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。（素材：紙）



※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

2. ディスクをセットします。

※はじめてお使いになるときは必ずレンズの保護カバーを取り外してください。上図参照
レーベル面を上にして、記録面をさわらないようにしてディスクをセットします。



3. ディスクカバーをしっかりと閉じます。

DVD/オーディオCDへの機能切換

本機は起動時にDVD視聴モードになっています。
他の視聴モードの場合、DVDモードに切り換えます。

本 体：機能切換ボタンを押す→ CH+ / CH- ボタンで「DVD」を選択 → 決定ボタンを押す

リモコン：機能切換ボタンを押す→ CH▲ / CH▼ ボタンで「DVD」を選択 → OK ボタンを押す

※機能の切替わりに時間がかかる場合があります。表示を確認してからボタンを押してください。



**注意**

※当項目以降で記載する『ボタン』の名称（「XX」）は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載しております。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

（本体ボタンの場合「操作できない場合」や「該当ボタンがない」場合があります）

（注） お買い上げ時はトレイ内部に「レンズ保護カバー（紙製）」が付いています。

本書 P.8 を参照して保護カバーを外してください。

（注） ディスクの読み込み面は手で触らないでください。

（注） カバーの開閉は丁寧に扱いください。破損や故障の原因となる場合があります。

ディスクの再生／主な操作の手順

1. 電源を入れる

機器と電源を接続し、本体側面の主電源スイッチをオン（入）にします。

2. 機器にディスクをセットする

本体のディスクトレイカバー開スイッチ を押してカバーを開き、ディスクのラベル面を上に向けてセットします。

ディスクをセットしてからディスクカバーを閉じます。

3. 再生の開始

オーディオCDの場合：ディスク読み込み完了後、自動的に再生されます。

DVDの場合：ディスク読み込み完了後、メニュー画面が表示されます。

タイトルを選択して決定ボタンを押すと再生されます。

4. 一時停止

ディスクの再生中にリモコン（又は本体）の「再生 / 一時停止（▶II）」ボタンを押すと、再生を一時停止します。再度ボタンを押すと再生が再開されます。

5. 停止

再生中に「停止（■）」ボタンを押すと「仮停止」と表示されます。

仮停止状態で「再生 / 一時停止（▶II）」ボタンを押すと停止した場面から再生が再開されます。仮停止状態で「停止（■）」を押すと完全停止となります。

6. 音量の調節

再生中に「音量+」ボタンを押すと音量が大きくなり、「音量-」ボタンを押すと音量が小さくなります。

7. 消音

再生中に「消音」ボタンを押すと音声のみを消すことができます。
消音状態で「消音」ボタンを押すと消音前の音量で出音します。

8. 場面のスキップ

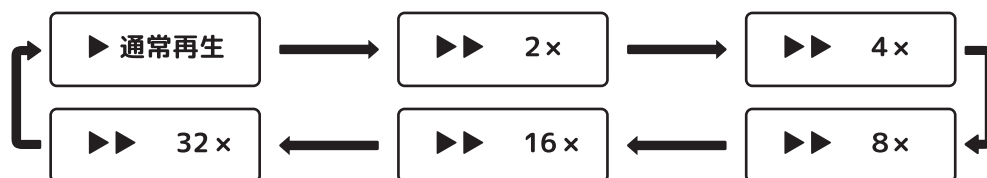
再生中に「次へ (▶▶|)」 「前へ (|◀◀)」 ボタンを押すと、一つ次 (又は前) のチャプターにスキップ移動します。

(注) チャプター編集がされていないディスクでは機能しません。

本体の「CH-」ボタン次へ、「CH+」ボタンで前へ移動します。

9. 早送り・早戻し

再生中に「早送り (▶▶)」 「早戻し (◀◀)」 ボタンを押すと、早送り (又は早戻し) 再生を行うことができます。再生速度はボタンを押すごとに切り換わります。



10. 場面を選択して再生

「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

「タイトル」ボタンを押すとタイトルメニュー画面が表示されます。

(注) ディスクによってはメニュー画面がない場合があります。

11. アングルの切換

再生中に「アングル」ボタンを押すと映像のアングルを切り換えることができます。
ボタンを押す回数によってディスクに記録編集された異なるアングルの映像に切り換わります。切換え可能なアングルの数と再生しているアングルの番号が画面に表示されます。

(注) アングル切換はマルチアングルで記録編集された DVD でのみ使用可能な機能です。
市販の DVD ソフトの場合、ジャケットやケースカバーなどで仕様をご確認ください。

12. 音声切換

再生中に「音声」ボタンを押すと、音声 (言語など) を切り換えることができます。
音声ボタンを押すたびに記録されている音声切り換わります。切換え可能な音声の数と再生している音声の番号が画面に表示されます。

(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

13. 字幕切換

再生中に「字幕」ボタンを押すと、字幕を切り換えることができます。ボタンを押すたびに字幕言語が切り換わります。切換え可能な字幕の数と再生中の字幕の番号が画面に表示されます。

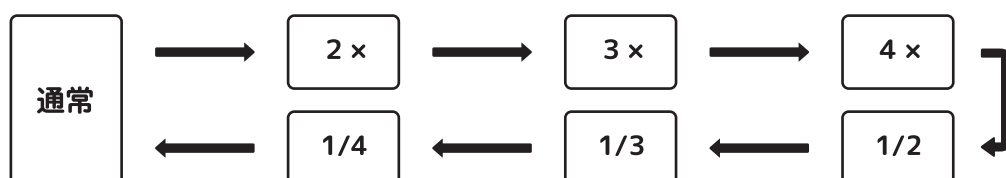
(注) ディスクによってはタイトル画面などからでのみ切換え可能な場合があります。

(注) 字幕データが収録されていないディスクではこの機能は使えません。

14. ズーム切換

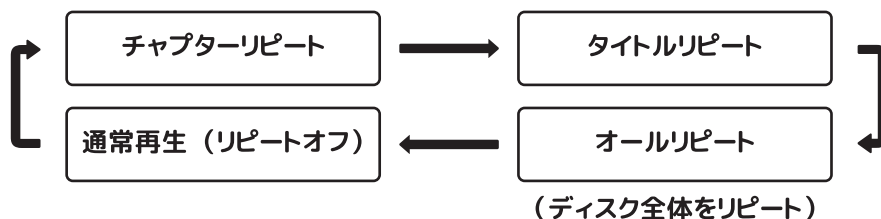
再生中に「ズーム」ボタンを押すと、映像の表示倍率を変更することができます。ボタンを押すたびに下記の順に表示倍率が変わります。

拡大表示中に「上下左右 (▲▼◀▶)」ボタンを押すと、画像を動かして表示範囲外の部分を見ることができます。



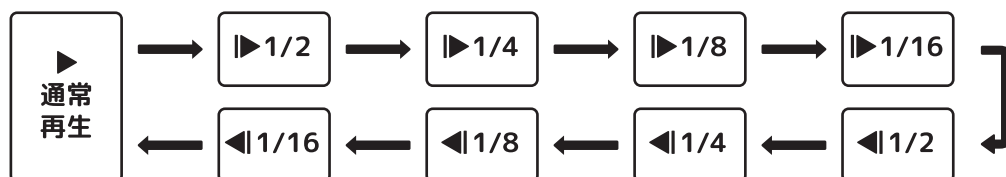
15. リPEAT再生

再生中に「リPEAT」ボタンを押すと、リPEAT再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順にリPEAT設定が切り換わります。



16. スロー再生

再生中に「スロー」ボタンを押すと、スロー再生を行うことができます。ボタンを押すたびに下記の順に再生スピードが切り換わります。



17. コマ送り

「コマ送り」ボタンを押すたびにコマ送りされます。

「再生」ボタンで通常再生に戻ります。



画面右上に表示されます。

テレビ番組を録画したディスクの再生

- 本機ではテレビ番組を録画した DVD ディスク（以下【番組録画ディスク】記載）の再生が可能です。（CPRM 対応）但し、本機で読み込み可能な【番組録画ディスク】は以下条件で作成されたディスク（DVD-R/RW）のみとなります。
本機で【番組録画ディスク】を再生する場合、録画する機器側の設定やデータの保存方法やディスクの作成方法などにご注意ください。

- 録画に使用するディスクが DVD（DVD-R や DVD-RW）であること
ブルーレイディスクやウルトラブルーレイディスク（BD/BD-R/UHDBD など）の読み込みできません。
- 録画に使用したディスクが CPRM 対応であること
パソコンなどを使用して CPRM（コピー制御）非対応のディスクに TV 番組などのデータを保存・作成されたディスクの場合、読み込みできない場合があります。
- 録画した機器側で「ディスクのファイナライズ」の処理が行われていること
ファイナライズは録画した機器以外の機器（本機など）でもデータの読み込みができるように、データの終点ポイントを付加した上で以降の「書換え／上書き不可」状態にする処理です。

この処理は 録画した機器（レコーダー等）側でのみ実行できます。またこの処理が未処理の場合、録画した機器以外ではディスク再生はできません。

- データが等倍速で録画されていること
録画する機器側の設定が「倍速」「3倍速」など、データが圧縮して保存されている場合、読み込みできない・正しく表示されないなどの場合があります。
- 録画（ダビング）方式が VR モードで行われていること
録画機器のメーカーや仕様により「AVCRECモード」や「HDVRモード」など VR モード以外の録画方式があります。本機では VR モード以外の方式で録画作成されたディスクの読み込みはできません。

（参考資料）

主な録画機器 製造メーカー	録画機器の名称など	ダビング方式	本機での 再生可否
Panasonic	ブルーレイ DIGA ハイビジョン DIGA	AVCREC VR	× ○
Mistubishi	REAL ブルーレイ REAL DVD レコーダー	AVCREC VR	× ○
Hitachi	Wooo ブルーレイディスクレコーダー	AVCREC VR	× ○
Toshiba	VARDIA ハイビジョンレコーダー	HDVR VR	× ○
Sony	ブルーレイディスクレコーダー	VR	○
Sharp	AQUOS ブルーレイレコーダー AQUOS ハイビジョンレコーダー		

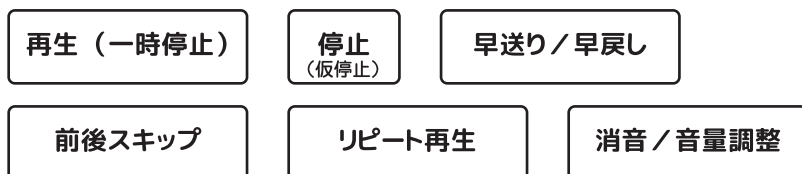
※ 上記資料は参考例として多々ある名称の中からピックアップされたものです。
上記以外にもメーカー名・機器名称・ダビング方式名称など複数ございます。

- ※ 上記条件に合った場合でもデータの書込方法・保存方法・データの破損・ディスクの互換性や相性の問題などの理由で読み込みできない場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 「ディスク」「CPRM」「ファイナライズ」についての詳細は本書 P.7 をご参照ください。

ディスクの再生／主な操作手順

● 音楽 CD の再生

DVD ディスクと同様に CD ディスクをセットしてディスクトレイカバーを閉じると、音楽データの再生が自動的に始まります。音楽 CD ディスクの再生時では、DVD ディスク再生に使用するボタンで以下の操作を行うことができます。

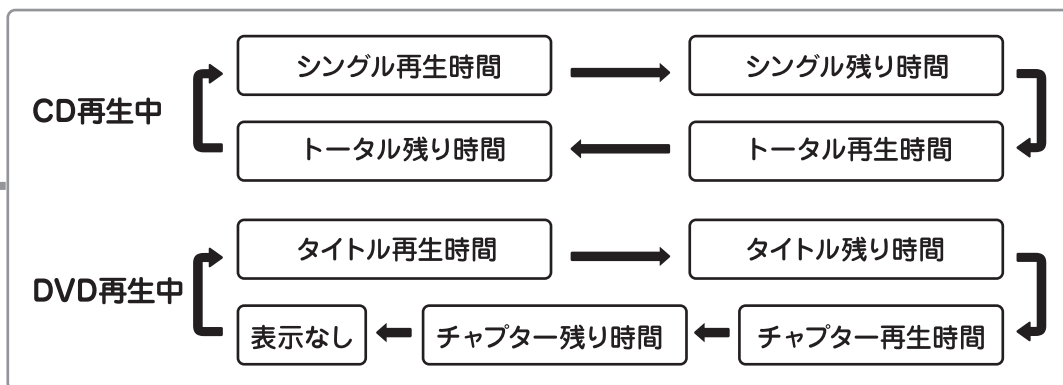


「停止」ボタンを1度押すと「仮停止」し、もう1度押すと「停止」します。

● CD 再生時の画面表示



音楽 CD の再生中は、トラック（収録曲）の再生時間などの情報が画面に表示されます。「TIME」ボタンを押すたびに下記の順に画面の表示が切り換わります。



DVD 設定

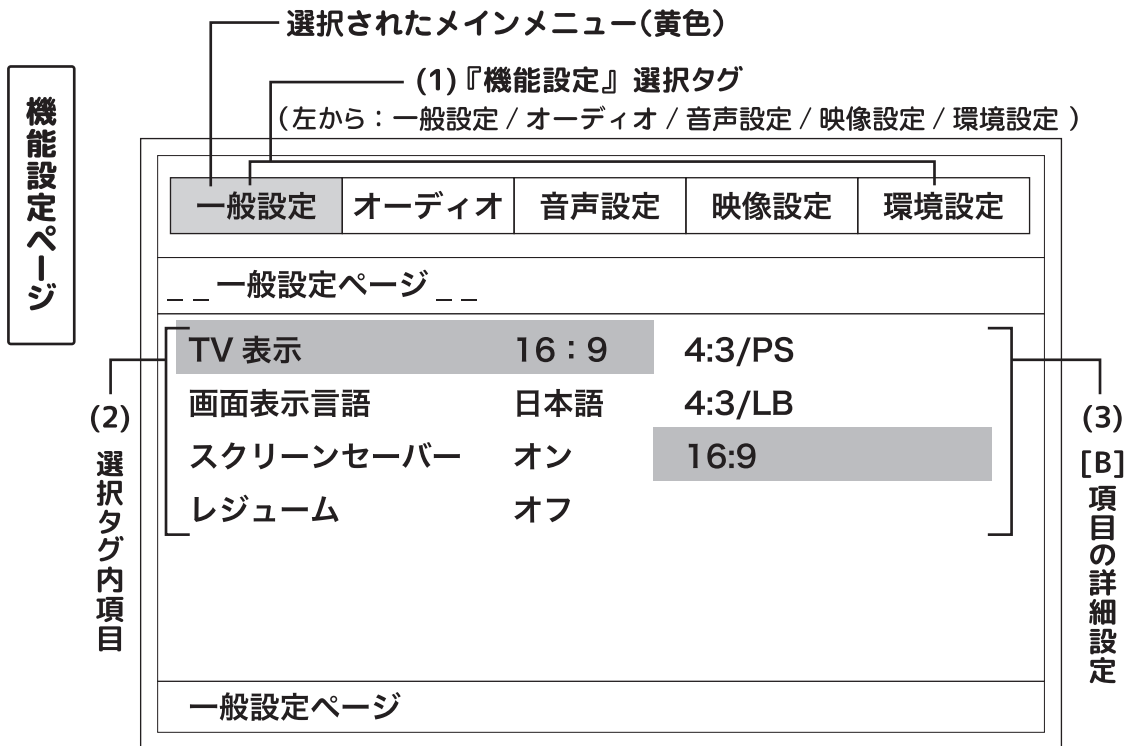
機器の機能や画質／音質の調整など、お好みに合わせて設定します。

- 機器の設定は「DVD モード」から行います。

(ヒント) 画質や音声等の設定は全モード (DVD/AV/ 外部メモリー) に反映されます。
各モードで視聴中に「画面が暗く感じる」「音質を変えたい」などの場合、
下記ご参照の上、機器の設定を行ってください。

設定確認(変更)の手順

- ① 主電源をオン (入) にします。
- ② DVD モードの状態ですべて「設定」 ボタンを押すと
画面に<機能設定ページ (下図)>が表示されます。
(AV モード等を視聴中の場合「機能切換」でモードを切り換えてください)



- ③ 「▲/▼/◀/▶」「決定」の各ボタンを利用して
(1) (2) (3) の順に設定詳細の確認や変更を行います。
- ④ 各種設定を終えたら「設定」 ボタンを押して設定を終了します。

※機能設定ページ内の各項目詳細につきましては本書 P.20 ～をご参照ください

一般設定

設定メニュー	説明
TV表示	接続するテレビ画面の種類を設定します。 4:3/PS : 横縦比4:3パンスキャン画面に設定されます。ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。 4:3/LB : 横縦比4:3レターボックス画面に設定されます。ワイド画像はすべて映りますが上下が黒い画面になります。 16:9 : 横縦比16:9のワイド画面に設定されます。
画面表示言語	画面に表示される言語を設定します。 英語または日本語から選択します。
スクリーンセーバー	オンにするとモニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約5分経過するとスクリーンセーバーを表示します。
レジューム	オンにすると、再生途中で停止または電源を切った場合、次の再生時にその場面から再開します。

オーディオ

設定メニュー	説明
ダウンミックス	5.1チャンネル等マルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号をフロント2チャンネルに変換させて再生します。 LT/RT : ダウンミックスモード ステレオ : 通常のステレオ

音声設定

設定メニュー	説明
ステレオ	ステレオのチャンネル数を設定します。 ステレオ : 通常のステレオ 左モノラル : 左側の音のみ両側のスピーカーから出る 右モノラル : 右側の音のみ両側のスピーカーから出る ミックスモノラル : 左右ミックスのモノラル
ダイナミック	ドルビーデジタルのディスク再生時の、音量幅を設定します。 「OK」ボタンを押し、調節バーが茶色から黄色に変わったら   で調節して  を押します。 調節バー 